

いろいろな使いかた

その他設定

便器の水たまり面を下げる
(水の跳ね返り低減や検便のときなど)

水面下げる

便器とウォシュレットの水を
一定の間隔で自動で流す

凍結防止

電子音を
鳴らす/鳴らさない

電子音

1 [止] と 水勢 + リモコンランプが点灯・点滅するまで押す(約10秒)



2 水勢 - 押す

3 おしり/ソフト 押す

4 ビデ/ワイド 押す

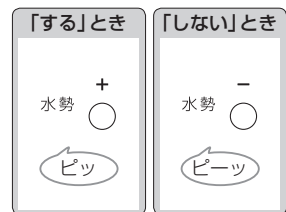
便器内の水が流れて低い水位でたまる
<設定完了>

お知らせ

- 検便時に使用するときには「オート便器洗浄」を「切」にしてください。(P.27)
- 便器洗浄すると、通常の水面の高さに戻ります。水面を下げて使いたい場合に、都度設定してください。

3 ビデ/ワイド 押す

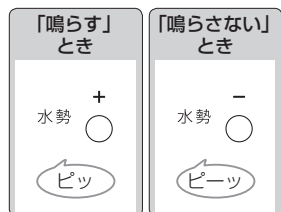
4 設定したい項目を選んでボタンを押す
・「する」に設定すると、約10分間隔で便器洗浄して凍結を防止します。



<設定完了>

3 おしり/ソフト 押す

4 設定したい項目を選んでボタンを押す



<設定完了>

前回の洗浄位置を記憶する/しない
ノズル洗浄位置の記憶

個人設定

個人設定をする/しない

個人のお好みの洗浄位置などを登録する^{※1}

1 [止] と 水勢 + リモコンランプが点灯・点滅するまで押す(約10秒)



2 水勢 - 押す

3 水勢 + 押す

4 おしり/ソフト 押す

現在の設定が表示されます。

5 水勢 - 押す
押すたびに切り替わる



6 [止] 押す
<設定完了>

4 ビデ/ワイド 押す

現在の設定が表示されます。

5 水勢 - 押す
押すたびに切り替わる

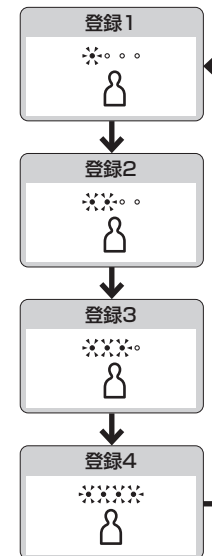


6 [止] 押す
<設定完了>

1 [個人設定] 押す

設定したい箇所を選ぶ

押すたびに切り替わる



2 おしり洗浄などを使用中に「洗浄位置」「水勢」「温水温度」をお好みの位置にする

3 [個人設定] 5秒以上押す

<設定完了>

使いかた

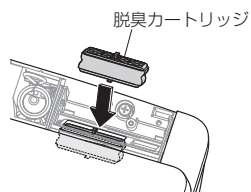
※1 「個人設定」を「しない」に設定しているときは、この操作はできません。

こんなときは

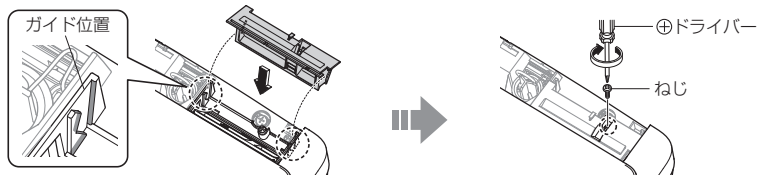
脱臭が弱くなったとき(つづき)

5 新しい脱臭カートリッジを取り付ける

- 確実に奥まで押し込む

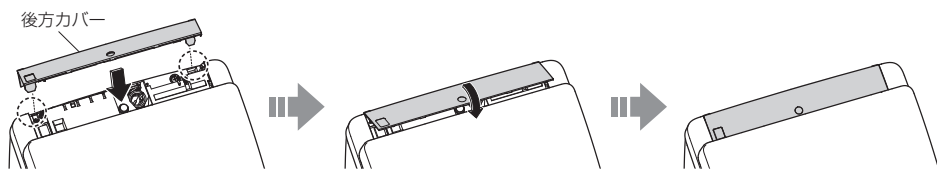


6 カバーを取り付ける



- ガイド位置に合わせて取り付ける

7 後方カバーを取り付ける



8 電源プラグを差し込む

- 「運転」ランプが点灯する

凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

- 便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

お願い

- 外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- 周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。
- 作業前に、「オート便器洗浄」(P.27)「オートふた開閉」(P.29)を「切」にしてください。

流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)

便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。

■設定のしかた(P.36)

- リモコンで「凍結防止」を「入」にしてください。

凍結防止中は、次のように作動します。

- 「運転」ランプが点滅する
- 約10分間隔で便器洗浄(約4.8L)する
- 約50mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)



ヒーター付便器・水抜併用方式

1 水抜栓を操作して、給水を止める

お願い

- 止水栓は開けたままにしておいてください。(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)



2 ノズルを押し出す

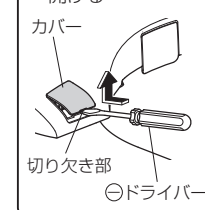
- 給水管の圧抜き

3 電源プラグを抜く

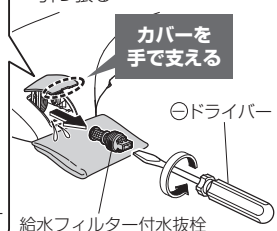
4 配管の水を抜く

- ①便座・便ふたを開ける

②カバーの切り欠き部に⊖ドライバーを差し込んで開ける

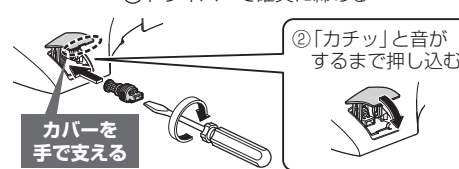


③給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめて、引っ張る



5 給水フィルター付水抜栓を取り付け、カバーを閉める

- ①給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーで確実に締める



6 電源プラグを差し込む

- 「運転」ランプが点灯する

7 流す大ノズルを押してタンクの水を抜く※1

8 便座温度を「高」にする(P.18)

- 保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく

■再度ウォシュレットをお使いになるときは
• 再通水が必要です。(P.54)

お知らせ

- ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。
- 凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。

※1 「便ふた閉止後洗浄モード」を「入」に設定しているとき、便ふたが閉まったあと便器洗浄します。

こんなときは

長期間使わないとき

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。

(タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因) (凍結して製品破損などをおこす原因)

お願い ・凍結の恐れがあるときは、凍結予防を行ってください。(P.53) (製品が破損する恐れ)

ご注意 ・「お掃除リフト」(P.43) で本体が上がった状態での水抜きはしないでください。

水抜きのしかた

- 流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)のとき
止水栓カバーを取りはずし、止水栓または元栓を閉める(P.4)

■ヒーター付便器・水抜併用方式のとき
水抜栓を操作して、給水を止める(P.53手順①)

お願い
・止水栓は開けたままにしておいてください。
- 止水栓カバーを取り付ける
- 流す大 を押してタンクの水を抜く*1
- ノズルきれ 押す
・給水管の圧抜き
- 電源プラグを抜く
- 配管の水を抜く(P.53手順④⑤)

■凍結のおそれがあるときは
・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)

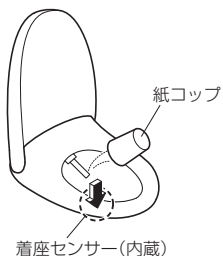
■再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。(下記)

再通水のしかた

- 止水栓カバーを取りはずし、止水栓または元栓を開ける(P.13) または、水抜栓を操作して、給水する
・配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する
- 止水栓カバーを取り付ける
- 電源プラグを抜いているときは
電源プラグをコンセントに差し込む
・「運転」ランプが点灯する
- ①ノズルから水を出す
(1)手または腕で着座センサー部(詳細はP.8を参照)に触れたまま、
(2)リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから水を出す
・水は紙コップなどで受けてください。
(3)手または腕を着座センサー部からはずす

② 押す*1
・タンクに水がたまっていないときは、便器洗浄できません。その間はすべての操作をしないでください。
(タンク給水中は、本体表示部のランプが点滅し、給水が完了すると点灯に変わります。給水完了まで80秒程度かかります。(給水圧などの使用条件によって左右されます。))

■残水が凍結して水が出ないとき
・トイレ内を暖め、お湯に浸した布で給水ホースと止水栓を温める
- 便器に水がたまってから、もう一度 を押す*1



故障かな?と思ったら

まず、P.55～63の処置方法をお試しください。

それでも直らないときは、お求めの取付店・販売店またはTOTOメンテナンス(株)修理受付センターにご相談ください。

次の場合は電源プラグを抜いて、TOTOメンテナンス(株)修理受付センターへ連絡してください。

●運転、便座、節電ランプが点滅している



●電子音が止まらない

●便座ランプが点滅している



注意

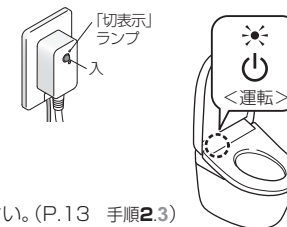
! 水漏れが起きたら、止水栓を閉める

まず、ご確認ください

運転ランプが点灯していますか?

■電源プラグの切表示ランプが点灯していませんか?

→「入」ボタンを押す(ランプ消灯)



■「運転入/切」の設定が「切」になっていませんか?

→リモコンで「入」に設定してください。(P.13 手順2.3)

■「運転」ランプが点滅していませんか?

→「凍結防止」設定が「入」になっています。(P.36、53)

■配電盤のブレーカーが入っていますか?

→停電したり、ブレーカーが「切」になっていないか確認する

節電ランプが点灯していませんか?

■点灯中は節電中(P.20～23)のため、便座ヒーターが切れていることがあります。

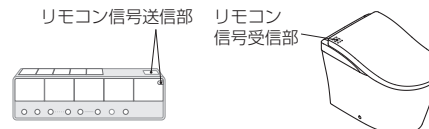
リモコンで動きますか?

■リモコンの「」が点滅していませんか?

→乾電池を交換する(P.12、50)

■リモコン信号送信部やリモコン信号受信部がふさがれていませんか?

→障害物やゴミ・水滴などを取り除く



必要なとき